

武雄市議会だより (Web版) 始めました

栄八通信

http://ei-8.info/

第77号

R2年1月4日 10月発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

令和元年8月水害復興と総合的対策へ

今議会、多くの議員が、自分自身の体験を通しての質問をされてきた。今回は、早朝で、道路も冠水し、移動できなかったため、おのずと自分の近くの、起きた出来事からの反省や意見が多かったものと思う。

一方、高段の家や、平成2年の水害後に家のかさ上げなどして対応しているところは、全く被害のないところもあり、総合的な目での対策が必要と思つた。

私自身、平成2年7月水害の後何年にも渡って、多くのポンプ設置など対策をされてきたので、二度と同様の災害は起こらないと思つていたが、今回の件でまた同様のことはあるとの考えに変わった。ここで改めて、被害を受けた方に対し、心よりお見舞いを申し上げます。心よりお見舞いを申し上げます。市議会議員として、具体的な対策が着実に進むように活動していくことをお誓いいたします。

今議会、市は、災害対応について、市民への情報伝達や初期対応などについての反省を表明した。そして、市民の方からの、体験や情報を聞いて、対応マニュアルを作り、次の雨期までに活用するとの話で、久々に市の考えと私の考えが最初から一致した。私の個人的な対応策としては、命を落とされた3名の方に報いるために、二度と同じことが起きない対策の早期実施。



西山線東にはガードレールあり



大山市体育館

R2年8月の水害を受けて、国交省の、武雄河川事務所の方針決定はスピード感があり、私自身は高評価している。

①牛津川遊水池の整備
六角川の越水や、破壊防止のために、水を一時的に溜める遊水池の整備事業、先のR2年の水害後、多分に牛津川遊水池が整備されているが、その第2弾とされる。武雄市、牛津川は下流が減少すればある程度六角川が流れやすくなるものと思われる。

六角川の水害対策発表の3本柱

遊水池・掘削・ポンプ
②六角川の河道掘削
このままでは、白岩公園内に、現在の体育館に、北方町の西体育館を解体し、その面積を統合した3700㎡で計画する模様だが、ちゃんとした説明もない。

新体育館のゆくえ

私はスポーツ課を所轄する総務委員会に所属するが、委員会に詳しい説明がなく、市民に伝えるべき、新球場や、新体育館の具体的なコンセプトや内容はわからない。市のネットのパブリックコメントに意見を市民として送信程度。ただ、新体育館について、アセットでは、白岩公園内に、現在の体育館に、北方町の西体育館を解体し、その面積を統合した3700㎡で計画する模様だが、ちゃんとした説明もない。

そこで総務委員会では、猪村副委員長の計画で、三重県内の体育施設を回り、市の予算規模が武雄とほぼ同じ大山市の体育館を基本とし、トレーニング室やシャワー室、防災倉庫など、健康拠点と位置づけて提案書を取りまとめて提出したが、どうなるか？

今回、六角川の越水の心配から、北方町の新橋より上流はポンプが一時停止された。それが水害拡大の原因の一つで、六角川を掘削することは、直接的に軽減効果がある。私は、これまでに、六角川はガタが上つてくるので、また推積するので、解決にならないと思つていたが、今回川を見て回ると、牛津川は川底がU字型なのに、六角川はV字またはM字型になっていて、川幅に対して、流水容積が少ないことを感じた。MをUにして流量を増す一方、排水口や川合流点で本流に遮断される、バックウォーター現象もあり、接続点の容量アップも必要ではと思う。

③広田川ポンプ場の整備
これが県事業として決定。場所は北方中央信号―北方小付近で、今回も2mまで浸水したことに對する対策で、数年前から進められ、基本計画も上がつていたが、国県まのことが事業主体になるかが決まらず、時間が経つてきた。早期の完成を望む。

上下水道部を廃止

今議会、4月からの水道課廃止の影響から、上下水道部が廃止され、まちづくり部の環境課が部になり、その下に下水道課が入る。部設置条例が可決した。当然の流れで、市民にとつて、そう変化ない出来事とも見える。ただ、見方によつては、環境課の担当としての、尿処理関係と下水道課の業務が一体的で、下水道料金と尿汲み取り料金の公平な負担のあり方も期待できる。下水道料金は維持管理費を基にして、し尿は運搬費と矛盾する。

もう一つ期待できるのは、環境部の業務に新たに、公園に関する事が入った事。これまで、武雄市は統計上の公園面積は広いが、どれもパッとせず、管理もバラバラで評判は悪かったが転換を期待。

会計年度職員とは？

地方公務員法の改正で、来年度より、公務員での、人手不足のため「臨時職員」や専門的業務の「嘱託職員」が、4月1日より、新しく「会計年度職員」に名称が変更される。内容的には、これまで臨時職員等は、2年までしか連続雇用ができなかったが、会計年度職員は、1年間の雇用が原則だが、何年も連続雇用が可能になる。また、今まで出なかった、ボーナスも出ることとなった。

☆「私人契約」
これまで区長(駐在員)、町の公民館長、交通安全指導員など特別職非常勤職員は、特別職でなく、私人(個人)との業務契約となり、公務員の枠からは外れる。駐在員(区長)は公務でなくなり、これまで遠慮されていた、選挙の総括主催者(責任者)も問題ないが、その人が投票立会人も兼ねるとどうかと思う。

災害ゴミのゆくえ

8月水害で、水に濡れたタタミ、家具を中心に多くの災害ゴミが発生した。このゴミへの対応は市が担当していたためか、毎日行政無線放送で案内されていた。当初は朝日町の杵藤クリーンセンター跡地だったが、交通渋滞などで、北方町の旧庁舎裏のグラウンド、東体育館グラウンド、中央公園グラウンド、東川登町の採石場跡地に、うす高く集められていた。現在は杵藤クリーンセンター跡地一箇所にまとめられていて、残っているのは不燃物のみで、今後、磁石をついた重機で、鉄などの有価物を分離して処理し、R2年3月に終了を予定する。

一方、グラウンドの再修復も、同年3月には完成4月からの利用を見込む。【ゴミの行き先】
一方、9月の議会は、一般質問

市営住宅管理交代へ

市営住宅の指定管理者が、今年度で、一期目5年間で終わる。これまでの五光建設から武雄ガスに交代し、R2年4月から、市に代つて住宅の退去・50万円以下の補修について、指定管理料、年間3058万円が業務を請け負う。また、別途約200万円が家賃の集金業務を代行する。

ちなみに、指定管理者の募集は7月1日から、8月9日までであり、応募者は、武雄ガス一社だった。一方、3月に来年度のまとめた、毎年の入居募集があるが、それは現在の五光建設の管理下で行われる。4月1日より武雄ガスに移行する。民間活力やノウハウを生かして、管理の向上を目指すもので、入居者のサービス向上を願う。一方、ガスの提供は建設中の志久住宅については入札になり安くなる模様。

は、ほぼ災害関係の予算関係で、災害ゴミについては、8億3600万円とし、主な内訳として、他自治体での受け入れ単価を1トン当たり4万円で、量を約1万8300トンと見て7億3200万円を概算で計上されていた。結果、実際は約半分の1万トン程度だった見込み。

一方、受け入れが難航すると思われたが、福岡市・佐世保市・北九州市の県外、唐津市・鳥栖、みやき・せぶりの組合に依頼したという。特に規模の大きい、福岡市には大量受け入れで早期の処理が実現した。早く、各施設の受け入れ量を集計し、市民に公表する一方、市や市民が感謝の意を、遅くならない時に表明できるように、集計を早くして欲しい。



クリーンセンターの不燃物作業中

近づく

新幹線問題と男女共同参画

何が近づいたのか？と思われるかもしれない。私の考え、小松市長の考えが近づいてきたこと。これまで、市長は、新幹線整備に関して、「高速度や安全性からフル規格での整備」という新幹線の機能のみを理由にしたコメントを多く出された。

12月の定例会見では、私が一番問題にしていた、在来線廃止などの、「並行在来線・ルート・財源・地域振興の問題をセットで出してもらおうが大事」との発言で、ほぼ同じ意見になった。私が、フル規格に反対している理由も、地域振興を除く、3点が出て来ないというか、出せないで、フル規格ありきで話が進んでいること。

一方、私は、秋田新幹線のようなミニ新幹線が良いと思っ理由は、在来線を利用するので、

杵東衛生処理場組合

脱退議決の意味

白石・江北・大町・田北方町のし尿や浄化槽汚泥を共同で処理する施設で、国道34号線の北方町境の大町町にある。

処理場建替えがR4年4月に完成するが、武雄市は、それを機会に組合を脱退する。加入は直前でも良いが、脱退は2年前に、決議して正式に通告しなければならぬので、今議決が行われた。

以前にも紹介したが、杵東衛生処理場に北方町分のし尿・農排汚泥を処理して町らつていて、年間約5000万程度を支払っている。

これが建て替えになると、高額になる可能性もあり、また合併もしたので、武雄市のし尿処理場で処理することを目指した。武雄市としては3、4年前から議員の提案を受け方針は決定。

廃止の心配がない。法律上は特急扱いで、1/3の費用負担が少なくできる可能性あり。
●男女共同参画
今議会、小松市長が、これまで否定的だった、クオータ制について、理解を示す発言があった。クオータ制というのは、委員や役員で、女性に一定の人数を与える制度で、私も必要と考えた。

私自身、青年会議所員として、第1回の男女共同参画市民会議委員として、20年以上前に出ている。その時、若者や女性の意見を政策決定に生かすとの話。ただ私の見方では進展は極めて遅い。見かけとの中身の落差もある。

市役所で言えば、課長級は管理職で、年齢になれば、多くの女性が管理職に、しかし課長の肩書きの人は2、3人が実態。

私も、発案者の1人で、その意味責任もあり心配な点もある。予定としては、今、多額の投資をして整備している公共下水道加入者が増加し、武雄のし尿処理センター(トライアル近く)への搬入が減少した分に、杵東組合を脱退した北方分を入れて効率化を計画

ただ、問題は、公共下水道への加入率が30%しかない為、日量100t処理能力に対し、殆ど減ったい現状がある。本気で公共下水道加入者を増大するが、現在、農排(農村地区の下水処理)処理場で浄化した残りの堆積した沈殿物(濃縮汚泥を再度、武雄衛生処理場に投入しているのを、脱水焼却するか、業者に出すかして、対応するしかないと思うし、これが新たな効率化になる可能性も。

武雄温泉駅周辺整備

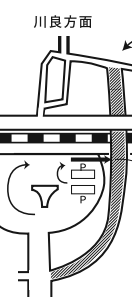
新幹線工事に合わせて、駅南口整備が進められ外周道路の整備は進んでいるが、駅広場の整備は止まっている。それは、以前の計画を変更しているため。新幹線プロジェットの委員会の意見を受けての見直しだが、私が以前より修正を求めていた部分とも重なり、私自身は歓迎している。

私が以前変更を要望した時は、「金かけて作成しているのを、今さら変更でくもんでいいか」と強く返答されていたことが、市民の委員会から言われると、すんなり変更されることで、もっと市民がまとまって意見を表明する大切さを感じた。

一方、発注した変更案は業者から、納入されていて、それを開覧したところ、私のこだわっていたバス6台の用地は一般車両用に変更されていて良かった。

●駐輪場の整備
新しい整備計画でも、交番前の駐輪場は整備地区外になっていた。老朽化して新駅とはアンバランスになるので、合わせて整備すべきと今議会も賛同。

以前は整備しないと明確に断言していたが、今回は検討するような話で期待している。

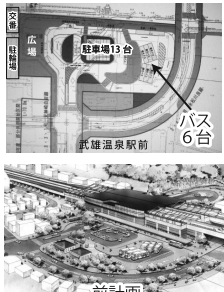


工業用水道事業

以前も取り上げたが、武雄市の工業用水は、矢筈ダム第3浄水場(新野球場横)↓西山↓川良↓朝日↓若木工業団地に、H4年から27年間給水しているが、毎年約5000万円を一般会計から補助して、黒字の形になっているので、問題として表に出づら。

3、4万人の配水で、収入は年間350万程度。専任の職員は置かず、水道課職員が兼務し、費用を案分している。今4月に、上水道が西部広域水道に統合されると、工業用水の担当者がいなくなる。これを機会に、杵島工業用水事業団(江北・大町・武雄北方分)に統合をした方が良く以前質問し、話し合ってみるとの答えだったので、改めて、今議会でも尋ねた。答えとしては、色々な方法を検討

一方、駅北側の永松から、川良方面も十字路になっているが、この道路のままで、危険なので、市道なので市がすり付け道路整備をすべきと再度提案。今回は地元からの要望や協力もあり、整備するとの話で、市民の後押しがないと日の目を見ないことが改めて分かったし、感謝したい。



工業用水道事業 早期の杵島工水への統合

一方、元年4月からは、北方インター工業団地の大同メタルにも給水していて、杵島工水も、近くの井手口鉄筋前まで来ていて、約5000mを配管すれば、連結は簡単。杵島工水としては、江北町・大町町・武雄市からの、毎年、約1700万円ずつの補助金で黒字運営している、今の状況に満足している状況で、武雄市工業用水と統合して負担やリスクを抱えたくないのが本音。

だから逆に、武雄市工業用水と統合した方が、杵島工水にとってもメリットがある提案をしないと先に進まず、時間がたち、災害なので、浄水場など施設が壊れると残念なことになる。

武雄自動車学校 横の踏切り拡幅

朝日町の教習所横に、(正式には)沖永踏切りがあり、以前は一方通行であり利用がなかったが、数年前に通常の形になり、利便性が向上し、またバイパスのコメリ付近から、旧34号線のツツヤ方面への買い回りルートとして利用が急増。市は、まず踏切付近の市道改良を明言。その後、新幹線の高橋駅付近の複線化工事に合わせて、踏切りが拡幅されると、議会での答弁があり、期待していた。

しかし、工事が始まっているが、拡幅の動きがないので、工事をしている鉄道運輸機構に尋ねると、工事中に拡幅する予算は付いていないとの話で実施に向けてのJ.R.武雄市のすり合わせがなぜか動いていない模様。また機構が広げるのは、工事のための仮設で、その後のことは、武雄市とJ.R.の問題らしい。

アジア・ベスト レストラン50と文化会館改造

3月24日、アジアのベストレストランの50店を発表する。セレスモニーが県の努力もあり、これまで大都市でしかなかったのが、武雄市文化会館で開催される。ただ、ランキング発表が目的で、当日まで、店名もわからないので、市民が、料理を味わうことはできない。県や、武雄市、嬉野市、有田町で活用した取り組みを計画中。

一方、これに関係する説明で、文化会館大ホール一階に外国人も来るためか、トイレの洋式化を行なうとのこと。そこまでは一連の流れだが、話の途中にいきなり、Aセット計画策定前に、大ホールを今後でも使い続けていくとの理事からの表明があり、びっくり。ただ、大ホール以外の施設については明確な発言はなく、不明。